

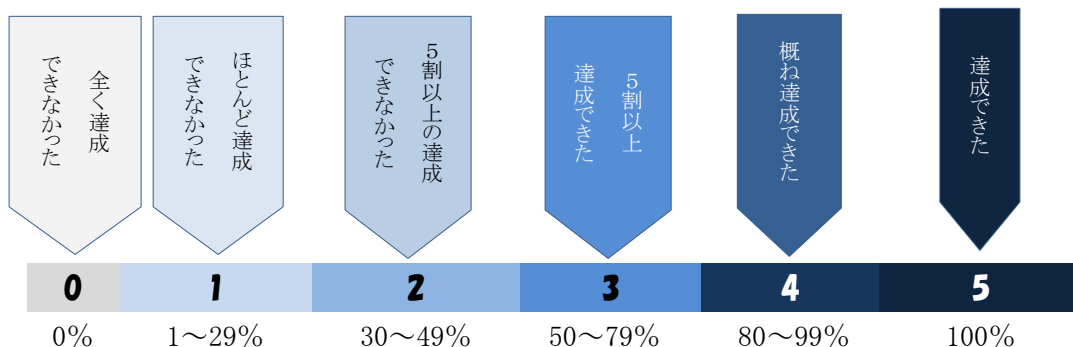
松山市男女共同参画事業実施計画報告書（令和元年度分）

～男女が力を合わせて「全国に誇れる松山」をつくろう～

男女共同参画社会の実現を目指す「松山市男女共同参画基本計画¹」を実効性あるものとするために、松山市では「松山市男女共同参画事業実施計画（以下、実施計画とする）」を策定しています。各事業を「目標達成度」と「男女共同参画への配慮度」から評価し、課題等を事業に反映させるためのフォローアップを行います。

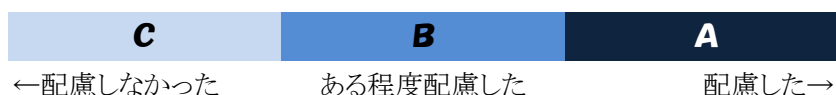
【目標達成度】

年度当初の予定をどの程度達成できたか



【男女共同参画への配慮度】

事業の実施にあたって、男女共同参画に配慮したか



【企画】

事業について、男女双方の意見を参考にしたか。またその事業が男女双方にとって利用・参加しやすいようになっているか。

【広報、出版物等の言葉への配慮】（表中では「表現」とする）

広報、出版物やホームページなど、公的広報のイラストや言葉について男女共同参画に配慮した表現となっているか。

【改善】

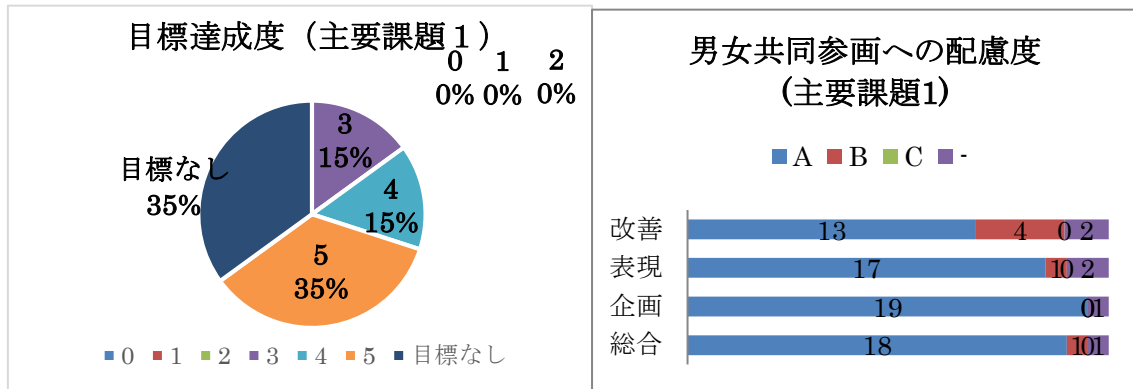
事業について、PDCA サイクルに基づいた運用を行い、男女共同参画の視点から事業の見直しや改善の検討を行っているか。

¹ 配偶者暴力防止法に基づく「松山市配偶者暴力防止基本計画」を含む計画です。

主要課題1 男女の人権の尊重

重点目標 ①男女間のあらゆる暴力の根絶 ②生涯を通じた男女の健康支援 ③メディアにおける男女の人権の尊重

主要課題1では、DV防止や被害者支援等20事業を実施しました。



(1) 目標達成度 平均4.3点（5点満点）

DV

「DV等に関する相談の実施」「DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用」等、数値目標設定になじまない事業もあるため「数値目標なし」もありますが、数値目標のある事業は、達成度平均4.3点となり、ほぼ目標を達成しました。DV学習会としてコムズで実施した講座への参加者が大幅に増えるなどしたことから、目標達成度の平均値は昨年よりやや向上しました。

啓発活動としては、昨年度に引き続き、大学と連携したデートDV防止啓発活動を実施しました。学生から学生一人一人に手作りのパープルリボンと啓発カード付のポケットティッシュを手渡し、デートDVの防止を訴えました。また、職員のDV等に対する意識を向上させるため、「女性に対する暴力をなくす運動」週間に庁内放送で周知を行ったり、DV被害者支援担当者の研修会を行ったりしています。

DV等に関する相談窓口としては、家庭・子育て相談室等を設置していますが、31年度の相談件数は618件でした。平成25年度から平成28年度までは相談件数は年々減少傾向が見られていましたが、平成29年度以降また増加傾向となっています。

今後も、相談窓口での適切な対応を行うとともに、個別の事案に速やかに対応できるよう、関係機関及び部署との連携を深めていきます。

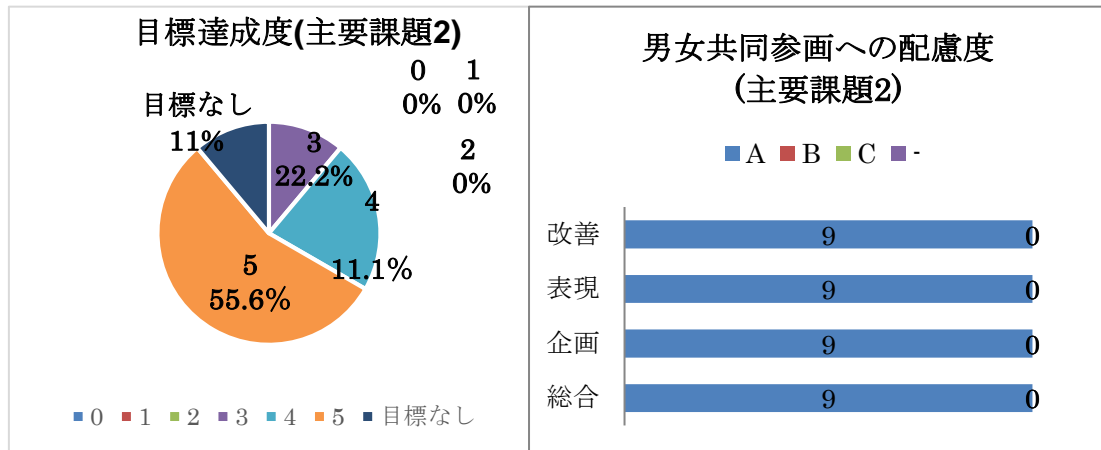
(2) 男女共同参画への配慮度 概ねA評価

多くがA評価で占められていましたが、改善のポイントで一部BやC評価がありました。今後も配慮すべき点を適宜検討しながら事業を実施します。

主要課題2：男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し

重点目標 ①社会での制度や慣行についての配慮 ②国際交流と国際協力の促進

主要課題2では、男女共同参画に関する啓発等9事業を実施しました。



(1) 目標達成度 平均 4.5 点 (5 点満点)

達成度は4~5点が過半数を占めており、平均点は4.5点で、ほぼ目標を達成しました。

「市民が主体となった男女共同参画の意識啓発」では、コムズフェスティバルの市民企画分科会を実施し、参加者は目標の300人を大幅に上回る989人となり、昨年比も157.4%と大幅に増加しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から報告交流会は中止となりましたが、各団体の報告書をアドバイザーに書面で評価してもらうなど、方法を工夫しました。今後もさらに市民が参加しやすくなるように努めます。

また、「男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座」では、日頃コムズに足を運ばない層にも参加者を広げるため、「カメラ基礎講座」や「コーヒーライフの楽しみ方」など参加しやすいテーマで開催。開催日時等も工夫したことで、目標を上回る人数に参加していただくことができ、教養や趣味を広げる機会となったと好評でした。

(2) 男女共同参画への配慮度 すべての項目でA評価

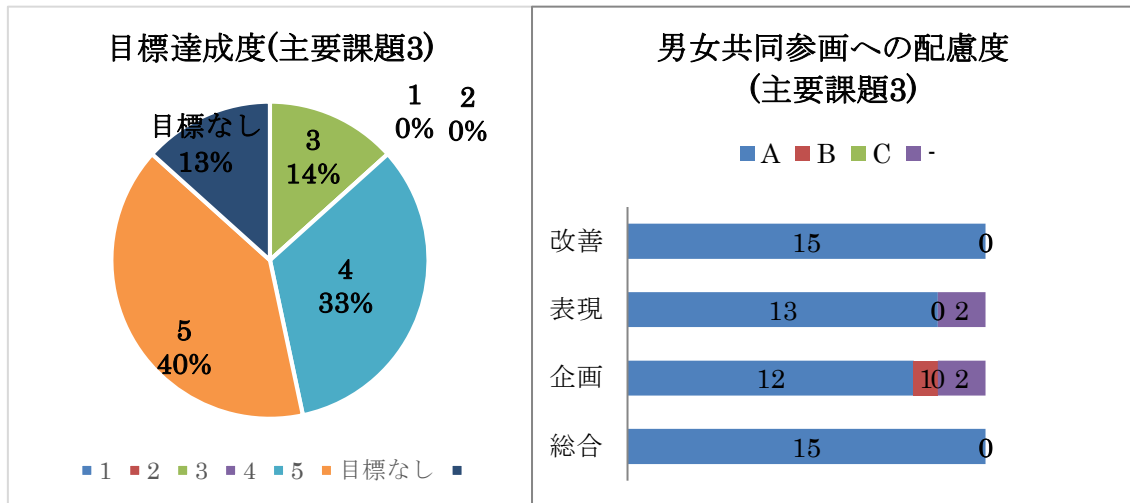
「企画」「表現」「改善」のすべての項目についてA評価でした。

前実施計画から、すべての項目でA評価であり、男女共同参画の視点をもって事業が遂行されています。今後も引き続いて周知・啓発等の事業を実施します。

主要課題3：政策等の方針決定過程への女性の参画拡大

重点目標 ①市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大 ②地域・職場の方針決定過程への女性の参画の拡大

主要課題3では、女性の参画に関する15事業を実施しました。



(1) 目標達成度 平均4.2点(5点満点)

目標をわずかに下回る事業もありましたが、平均点は4.2点となり、全体としてはほぼ目標を達成しました。

「女性登用率の向上促進」では、「松山市審議会等の女性登用計画」で各審議会等担当課が女性登用率の自己目標を掲げて努力し、目標40.0%に対し、39.6%の実績(令和2年4月1日現在)となり、目標まであと少しとなりました。各審議会担当課の努力により、計画策定時以降、着実に女性登用率は上昇し続け、市の政策や方針決定過程の場に女性の意見が反映されてきていると言えます。今後も継続して女性の意見が反映できるよう取り組みを継続します。

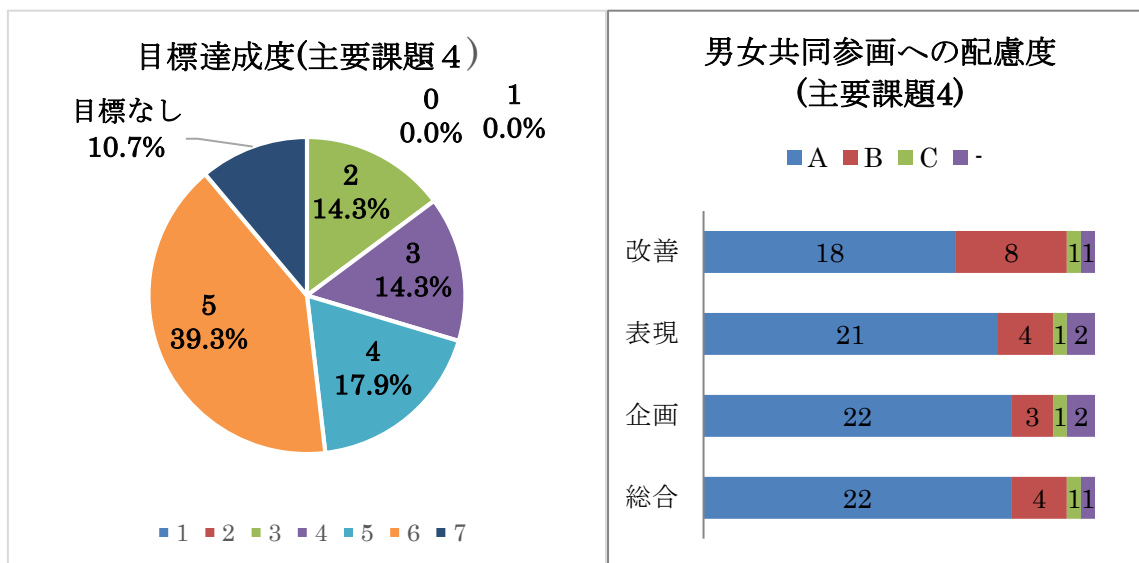
(2) 男女共同参画への配慮度 全てA評価

「女性活躍推進に関する特定事業主行動計画」、など、目標を設定できないものもありますが、その他ほとんどの事業でA評価となりました。

主要課題4：仕事と生活の調和

重点目標 ①雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保 ②柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備
 整備 ③高齢者等が安心して暮らせる条件の整備

主要課題4では、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）等28事業を実施しました。



(1)目標達成度 平均 4.0 点 (5 点満点)

全28事業のうち、「企業内人権教育担当者研修講座」の受講社数や「松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金」事業について目標を大幅に下回っているものもありますが、全体の平均点は、4.0点となり、昨年の3.5点から向上させることができました。男女共同参画推進センターが実施した「ワーク・ライフ・バランスの普及啓発（市民）」は、公開講座の参加者が男女比約半々となり、夫婦での参加も多かったなど、普段コムズに足を運ぶことが少ない層に対し意識啓発を行うことができたことは大きな効果として挙げられます。今後も実施日時や研修内容等に工夫を加えながら、年齢性別問わず幅広い層に来館してもらえるよう努力していきます。

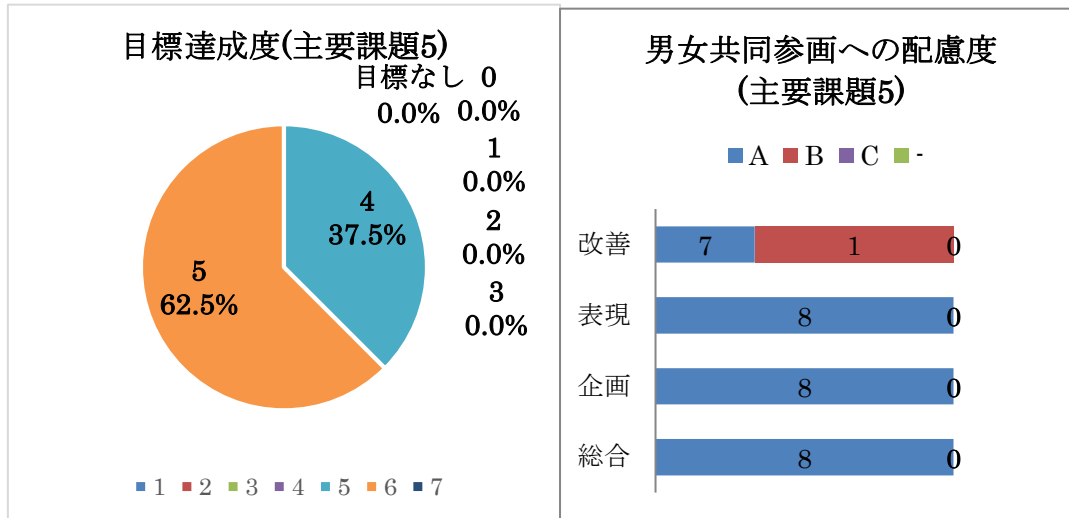
(2)男女共同参画への配慮度 概ねA評価

多くの事業がA評価になりましたが、B、C評価の事業も見られました。引き続き、男女共同参画に配慮した事業を実施できるよう注視していきます。

主要課題5：地域防災分野での男女共同参画

重点目標 ①男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化 ②男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立

主要課題5では、地域防災に関する8事業を実施しました。



(1)目標達成度 平均 4.6 点 (5 点満点)

「対策本部運営事業」では、西日本豪雨をふまえ本部体制を見直し、避難所担当職員研修も体制を見直した上で8回実施し、充実させることができています。

「災害用物資資機材整備事業」では、主要な避難所への食料や物資・機材の配備について、目標の86.2%を達成しましたが、さらに配備を進め充実を図っています。

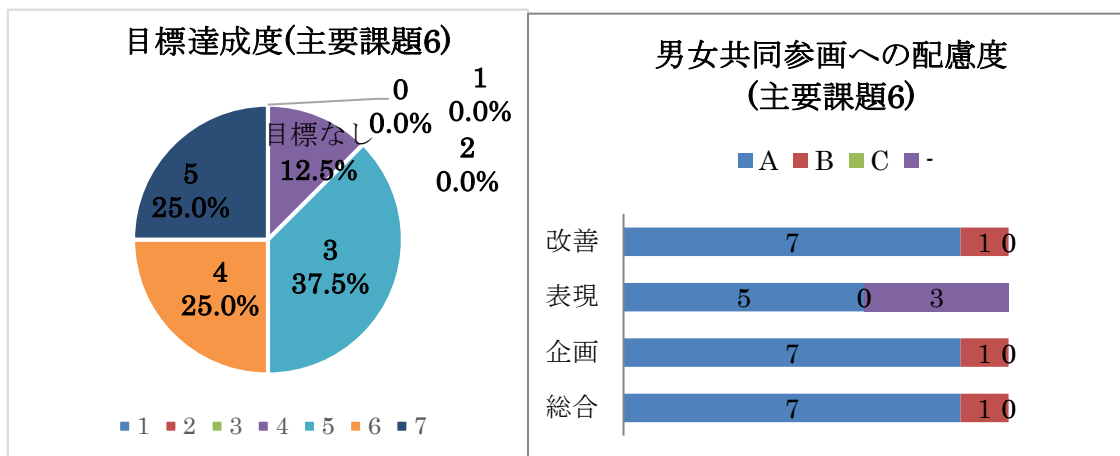
(2)男女共同参画への配慮度 概ねA評価

ほとんどの事業がA評価になりました。今後ますます注目される防災分野について、男女共同参画の視点からも充実した内容にできるよう、啓発を行っていきます。

主要課題6：教育分野での男女共同参画

重点目標 ①男女平等を推進する教育・学習の充実 ②多様な選択を可能にする教育・学習の充実

主要課題6では、学校教育や子どもに関する8事業を実施しました。



(1) 目標達成度 平均 4.2点 (5点満点)

イベントの参加人数や講座等の回数が目標より少なかった事業がありますが、平均は4.2点と概ね達成することができました。「男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供」では、父子対象の体験講座などを新たな取り組みとして行った結果、男性の参加者が前年比133.8%となるなどして、目標を達成することができました。

(2) 男女共同参画への配慮度 1事業をのぞいて全てA評価

B評価が1事業ありますが、その他は全てA評価でした。

統一事項

松山市男女共同参画事業実施計画が、〈平成29年度～平成31年度版〉になって3回目。最終の実績報告となりました。策定した目標に達しなかった事業もありますが、3年間を通して着実に成果を挙げている事業もみられます。事業実施計画の期間中、男女共同参画というのはどんな事業を行う際にも「視点」として持つておくことであること、及びその重要性について啓発を続け、理解が広まったと感じています。

令和2年度からは、改定した事業実施計画を基に施策を進めていきますが、今後も、根気強く意識啓発を行い、男女共同参画に配慮した事業を実施します。